

写真管理基準（案）

1. 総 則

1-1 適用範囲

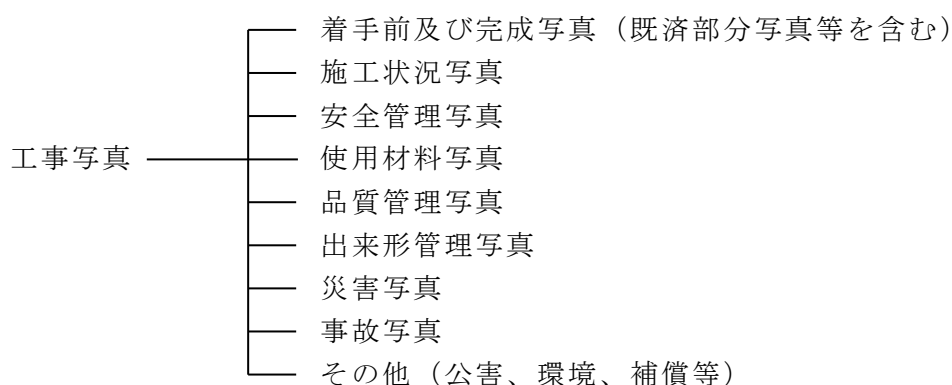
この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める公共工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

1-2 工事写真の分類

工事写真は次のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、小黒板等の拡大写真の添付や写真目次等の写真情報（写真管理項目-施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工

「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黒板情報電子化について』（平成29令和5年43月3015日付け、国技建管第406号）に基づく小黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黒板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は3:4程度とする。
(100万画素程度～~~200~~300万画素程度=1,200×900程度～~~1,600~~2,000×~~1,200~~1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 留意事項等

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「電子納品運用ガ

イドライン（簡易版）〔島根県農林水産部・土木部〕によるものとする。

なお、電子媒体で提出しない場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

4. その他

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の様子が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

※ 本基準に示す品質管理の工種番号は、「2. 品質管理基準（案）」に示す工種番号と整合を取っている。

また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「1. 出来形管理基準（案）」に示す編章節と整合を取っている。

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランプ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
	コンクリートの洗い分析試験				
セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により施工完了時の状況(全周)の提出によりひび割れ調査写真を代替することができる。			
	テストハンマーによる強度推定調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]			
	コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]			
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
セメント比の圧縮強度試験					
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		ブルーフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		粒度			
		平板載荷試験			
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]		
		含水比試験			
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		不要	
7	セメント安定処理路盤(施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度分			
		温度測定			
		水浸ホイールトラック試験			
		ホイールトラック試験			
	ラベリング試験				
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		温度測定			
外観検査 すべり抵抗試験					
9	転圧コンクリート (施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		マーシャル突き固め試験			
		ランマー突き固め試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		温度測定 (コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]		
		現場密度の測定 コアによる密度測定	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
10	ガスアスファルト 舗装 (プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		リュエル流動性試験240℃			
		ホイールトラック試験			
		曲げ試験			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
	温度測定				
	ガスアスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床又または施工箇所毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		ブルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験			
		現場CBR試験 含水比試験	降雨後又または含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中]		
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験			
		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中]		

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
41	砂防ソイルセメント -（転圧タイプ）-	ふるい分け試験 -（粒度試験）-	1回/1材料 [試験実施中]		
		含水比試験			
		現場密度試験			
		圧縮強度試験			
		六価クロム溶出試験			
42	砂防ソイルセメント -（流動タイプ）-	含水率試験	1施工箇所又は材料毎に1回		
		密度試験 -（セメントミルク密度）-	1施工箇所1回		
		圧縮強度試験	1施工箇所又は材料毎に1回		
		六価クロム溶出試験	1回/1材料 [試験実施中]		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 路 土河川 工・土 治工・ 山・海 岸土 工・土 海 岸土 工・土 海 岸土 工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-2 ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕		
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕			
1 共通編	2 土工	3 土河川 工・土 海 岸土 工・土 海 岸土 工	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-3 ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
						締固め状況	「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要 転圧機械又は地質が変わる毎に1回		
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV) および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。			

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
1 共通編	2 土工	3 排水河川 土工 ・ 開海 排水岸 水土 路工 ・ 砂防 ・治土 山工 ・用	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工 法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補 強土工法)	厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-4	
1 共通編	2 土工	3 排水河川 土工 ・ 開海 排水岸 水土 路工 ・ 砂防 ・治土 山工 ・用	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-5	
1 共通編	2 土工	3 排水河川 土工 ・ 開海 排水岸 水土 路工 ・ 砂防 ・治土 山工 ・用	6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-6	
1 共通編	2 土工	4 道路 土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-2	
					法長 ※右のいずれか で撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕	「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕			・出来映えの撮 影 ・TS等の設置状 況と出来形計測 対象点上のプリ ズムの設置状況 (プリズムが必要 な場合のみ)が わかるように撮 影
						「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場 合)における 空中写真測量 (UAV)および 地上写真測量 」 に基づき写真測量に用いた 画像を納品する場合には、写 真管理に代えることが出来				

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-3 1-2-4-4
							「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」における 「締固め層厚分布図」を提出 する場合は写真不要		
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕		
						法長 幅 ※右のいずれか で撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場 合) 」による場合は1工事に1回 〔施工後〕			
						「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場 合)における空中写真測量 (UAV)および地上写真測量 」 に基づき写真測量に用いた 画像を納品する場合には、写 真管理に代えることが出来 る。			
1 共通編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-5
1 共通編	3 無筋、 鉄筋 コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋につ いて適用)	代表箇所 各1枚	1-3-7-4
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋につ いて適用)		
1 共通編	3 無筋、 鉄筋 コンクリート	7 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、 橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、 電磁波レーダ法)	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1 枚〔試験種別 毎〕	1-3-7-4

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積(張)工	4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-4
						法長 厚さ(ブロック)	200m又は1施工箇所 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積(張)工	5		石積(張)工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-5
						法長 厚さ(石積・張)	200m又は1施工箇所 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	6	アスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回〔実施中〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	2	半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	4	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	6	半たわみ性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						浸透性ミルク注入状況	400mに1回 〔注入時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	6	排水性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-10
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-10
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	2	グースアスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						スリッパー、 タイバー寸法、 位置	80mに1回 〔据付後〕		
						鉄網寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事1回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						目地段差	1工事に1回		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	7	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理 工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1 回		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	11	コンクリート舗装工(連続鉄筋 コンクリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕		
						縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事1回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の 場合は打設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
目地段差	1工事に1回								

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	15		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1施工箇所(に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-15
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所(に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-16
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	17		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所(に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-17
						タックコート	各層毎(に1回 〔散布時〕		
						整正状況	400m(に1回 〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40m(に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-2
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所(に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-3

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	7	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-5
3	2	7	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-6
3	2	7	7	8	パーティカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	200m ² 又は1施工箇所 に1回〔打 込み前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-7
						杭径 位置・間隔	200m ² 又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量〔打込前後〕		
3	2	7	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所 に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-9
						深度	1施工箇所 に1回 〔打込前後〕 ただし、(スラリー攪拌工)におい て「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)固結工(スラリー 攪拌工)編」により出来形管理資 料を提出する場合は、出来形管 理に関わる写真管理項目を省略 できる。		
3	2	7	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m ³ ~4,000m ³ につき1 回、又は施工延長40m(測点 間隔25mの場合は50m)につき 1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)表層安定 処理等・固結工(中層混合処理) 編」により出来形管理資料を提出 する場合は、出来形管理に関わ る写真管理項目を省略できる。	代表箇所 各1枚	3-2-7-9
3	2	10	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込前〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
						数量	全数量〔打込後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	13	1		架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	3-2-13-1
3	2	14	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
						土羽土の厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕		
						法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3	2	14	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕		
						厚さ(検測孔)	200m ² 又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕		
						法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕		
3	2	14	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-3
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕		
						法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						厚さ(検測孔)	200m ² 又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕		
3	2	14	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)法面工編」 に基づき写真測量に用いた画像 を納品する場合には、写真管理 に代えることが出来る。	代表箇所 各1枚	3-2-14-4
3	2	14	4	2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-4
3	2	14	6		アンカー工	削孔深さ	全数 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-6
						配置誤差	全数 〔施工後〕		
						アンカー一体組立 状況	全数 〔組立完了後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	6		鉄筋挿入工	削孔深さ	5%以上かつ3本以上 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-6
						配置誤差	5%以上かつ3本以上 〔施工後〕		
						鋼材組立状況	5%以上かつ3本以上 〔組立完了後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場 合は1工事に1回	代表箇所 各1枚	3-2-15-1
						厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場 合は1工事に1回 〔型枠取外し後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回〔埋 戻し前〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-2
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	3		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工 法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補 強土工法)	高さ 鉛直度	120m又は1施工箇所に1回〔施 工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-3
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	4		井桁ブロック工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-4
						法長 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	16 浚渫工	1		浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-16-1
3 土木工事共通編	2 一般施工	18 床版工	1		床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効-高 さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1スパンに1回 〔打設前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-18-1

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-3-3-3
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
10 道路編	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-6-8
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工(張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-7-9
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-7-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工(I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工(門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工(I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-10
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工(門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-10
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-11
10 道路編	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-4-3-9
						製作状況	適宜 〔製作中〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第12編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
12 下水道編	1 管路	3 管きよ工 (開削)	3 管路土工		管路掘削	掘削状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-3
						深さ 幅	マンホール間ごとに1回 [掘削後]		
12 下水道編	1 管路	3 管きよ工 (開削)	3 管路土工		管路埋戻	埋戻状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-3
12 下水道編	1 管路	3 管きよ工 (開削)	4 管布設工		管布設 (自然流下管)	布設状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-4
						中心線の変位 (水平)	マンホール間ごとに1回 [布設後]		
12 下水道編	1 管路	3 管きよ工 (開削)	4 管布設工		圧送管	布設状況	施工延長40mにつき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-4
						中心線の変位 (水平)	施工延長40mにつき1回 [布設後]		
12 下水道編	1 管路	3 管きよ工 (開削)	5 管基礎工		砂基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-5
						幅 厚さ	マンホール間ごとに1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	3 管きよ工 (開削)	5 管基礎工		碎石基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-5
						幅 厚さ	マンホール間ごとに1回 [施工後]		

【第12編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
12 下水道編	1 管路	4,5 管きよ工 (小口径推進、 推進)	3 推進工		推進工	各種設備設置 撤去状況(推進 設備、掘進機、 坑口、泥水処理 設備等)	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-4-3 12-1-5-3
						推進状況(掘 削、送排泥、裏 込注入等)	1施工箇所に1回 [施工中]		
						中心線の変位 (水平)	1施工箇所に1回 [推進後]		
12 下水道編	1 管路	4,5 管きよ工 (小口径推進、 推進)	4 立坑内管布設工		空伏工	施工状況	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-4-4 12-1-5-4
						幅 高さ 中心のずれ	1施工箇所に1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	6 管きよ工 (シールド)	3 一次覆工		掘進工	各種設備設置 撤去状況(シー ルド機、支圧 壁、坑口、軌条 設備等)	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-6-3
						セグメント組立状 況	施工延長40mにつき1回 [施工中]		
						掘進掘進状況 (掘削、送排泥、 裏込注入等)	1施工箇所に1回 [掘進中]		
						中心線の変位 (水平)	施工延長40mにつき1回 [掘進後]		
12 下水道編	1 管路	6 管きよ工 (シールド)	4 二次覆工		二次覆工	各種設備設置 撤去状況	施工延長40mにつき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-6-4
						覆工状況	施工延長40mにつき1回 [施工中]		
						中心線の変位 (水平) 二次覆工厚 仕上がり内径	施工延長40mにつき1回 [覆工後]		
12 下水道編	1 管路	8 マン ホール工	3 現場打ちマン ホール工		標準現場打ちマンホール工	据付状況	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-3
						幅(内法) 高さ 壁厚	1施工箇所に1回 [施工後]		

【第12編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
12 下水道編	1 管路	8 マンホール工	3 現場打ちマンホール工		マンホール基礎工	施工状況	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-3
						基礎工幅 基礎工高 コンクリート幅 コンクリート高	1施工箇所に1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	8 マンホール工	4 組立マンホール工		組立マンホール工	据付状況	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-4
						高さ	1施工箇所に1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	8 マンホール工	5 小型マンホール工		小型マンホール工	据付状況	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-5
						高さ	1施工箇所に1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	9 特殊マンホール工	4 躯体工		現場打ち特殊人孔	施工状況	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-9-4
						幅 高さ 壁厚	1施工箇所に1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	10 取付管および ます工	4 ます設置工		公共ます	設置状況	1施工箇所に1回 [設置中]	代表箇所 各1枚	12-1-10-4
						ます深	1施工箇所に1回 [設置後]		
12 下水道編	1 管路	10 取付管および ます工	5 取付管布設工		取付管	布設状況	1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-10-5

【第21編 管路・畑かん施設編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
21 管路・畑かん施設編	1 管路・畑かん施設	4 管基礎工	2		砂基礎工	基礎、埋戻の厚さ、幅、敷均し、締め状況	施工延長50mに1ヶ所[施工中・施工後] 上記未満は2ヶ所[施工中・施工後]	代表箇所各1枚	21-1-4-2
			3		コンクリート基礎工	幅、厚さ	施工延長50mに1ヶ所[施工後] 上記未満は2ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	21-1-4-3
21 管路・畑かん施設編	1 管路・畑かん施設	5 管布設工	2		硬質塩化ビニル管工	管布設状況	施工延長50mに1ヶ所[施工中]	代表箇所各1枚	21-1-5-2
			3		強化プラスチック複合管工		上記未満は2ヶ所[施工中]		21-1-5-3
			4		ダクタイル鋳鉄管工	ジョイント関係	施工延長50mに1ヶ所[施工後] 上記未満は2ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	21-1-5-4
21 管路・畑かん施設編	1 管路・畑かん施設	7 畑かん施設工	4		散水器具工 (スプリンクラー)	埋設深	1ha当たり1ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	21-1-7-4

【第26編 林道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
26 林道編	1 開設	5 路盤工	3 土置工・下置工路盤工		土置工下置工路盤工	厚さ、幅	100m又は1施工箇所ごとに1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	26-1-5-3

【第27編 治山編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
27 治山編	1 治山ダム	3 コンクリート治山ダム工	4 3		コンクリート治山ダム本 体工	打継目処理 打込・養生	リフト毎に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-1-3-43
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
27 治山編	1 治山ダム	5 木製治山ダム工	5		木製治山ダム本 体工	組立状況 詰石状況	堤高中間付近で1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-1-5-5
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
27 治山編	2 護岸、 流路	3 護岸工	6 7		木製護岸工	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-2-3-67
						高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
27 治山編	2 護岸、 流路	4 流路工	6 7		木製流路工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	27-2-4-67
27 治山編	3 山腹	4 緑化工	2		柵工	杭木形状寸法	適宜 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-3-4-2
						高さ	適宜 〔施工後〕		
27 治山編	3 山腹	9 水路工	2		張芝水路工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	27-3-9-2
27 治山編	3 山腹	14 なだれ防止工	4		階段工	施工地遠景 (位置確認写真)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工前後〕	代表箇所 施工 前後各1枚	27-3-14-4 平面図等へ撮 影位置記入
						作業中	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕		
						幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		

2-4 運搬打設工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
施工管理	施工管理	準備 (※)	打設準備	打設前	不要	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影 但し、JISマーク表示認証工場の場合は省略 ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、締固状態等を撮影 レイタンス除去状況を撮影 天端均し仕上げ状況を撮影 打設後（底版、打継各層、天端）の養生状況を撮影
		運搬 (※)	コンクリートの運搬状	運搬時		
		打設 (※)	コンクリート打設	打設時		
		打継目 (※)	レイタンス除去状況	施工時		
		表面仕上げ (※)	仕上げ状況	表面仕上げ時		
		養生 (※)	養生	養生時		

(※) 代表的な1サイクルの撮影で可とする。

2-5 暑中コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
施工管理	施工管理	施工状況 (※)	セメント、骨材、水の温度の管理状況	測定時	不要	2-1レディーミストコンクリートの関連事項を適用する。 コンクリートの温度保護を必要とした場合
			打設面の状況	打設直前		
			打設状況	運搬装置、防護処置等		
			打設中及び打設完了後の保護状況	打設時及び施工完了時		

(※) 代表的な1サイクルの撮影で可とする。

2-6 寒中コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
施工管理	施工管理	施工状況 (※)	セメント、骨材、水の温度の管理状況	測定時	不要	2-1レディーミストコンクリートの関連事項を適用する。 コンクリートの温度保護を必要とした場合
			打設面の状況	打設直前		
			打設状況	運搬装置、防護処置等		
			打設中及び打設完了後の保護状況	打設時及び施工完了時		

(※) 代表的な1サイクルの撮影で可とする。

2-7 コンクリートの品質管理

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
品質管理	品質管理	試験練り (※)	試験状況、供試体作成及び養生状況	試験時、養生時	不要	ただし、JISマーク表示認証工場の場合は省略 設計基準強度の撮影は σ_{28} のみとする。
		強度試験 (※)	試験状況	試験時		
		現場試験 (※)	スランプ、空気量、温度測定状況	供試体作成時		

(※) 品質規定毎に1枚の撮影で可とする。

2-8 鉄筋工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	棒鋼 鉄筋	保管状況 (※)	荷降し後	不要	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 組立て、結束状態が確認できるように撮影
			保管状況 (※)	加工後		
			組立て及び結束	組立時		
			吊筋	取付後		

(※) 代表的な1サイクルの撮影で可とする。

2-9 型枠及び支保工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	型枠 (※)	製作及び大組製作の状況	製作時	不要	内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影
			組立状況	組立時		
			取外し状況	取外し時		
			型枠清掃状況	清掃時		

(※) 代表的な1サイクルの撮影で可とする。

2-10 水中コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	打設 打設用機械器具等	打設状況	施工時	不要	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。 トレミー、コンクリートポンプ、底開き箱、底開き袋等
			打設状況	施工時		
	出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況	出来形測定時	代表箇所 各1枚	

2-11 袋詰コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	使用船舶機械等 袋詰 設置	使用船舶、機械等	施工時	不要	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工、2-9型枠及び支保工及び2-10水中コンクリートの関連事項を適用する。
			コンクリート袋詰状況	施工時		
	出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況、設置（積上）状態	出来形測定時	代表箇所 各1枚	

2-12 水中不分離性コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	打設 打設用機械器具等	打設状況	施工時	不要	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-8鉄筋工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。 トレミー、コンクリートポンプ等
			打設状況	施工時		
	品質管理	各種試験	スランプフロー、圧縮強度、懸濁物質等の試験状況	試験時	不要	
出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況	出来形測定時	代表箇所 各1枚		

3-5 本体工（ケーソン式）

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. ケーソン製作工						
1) ケーソン製作用台船	施工管理	使用船舶機械等	フローティングドック、引船、起重機船、運搬船、クレーン運搬機械等	施工時	不要	使用する船舶、機械の種類が判明できるように撮影
		ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景		ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
2) 底 面	施工管理	函 台	製作函台	着工時及び施工時	不要	函台、函台の平坦性（敷砂等）及び剥離材（ルーフィング等）の敷設状況の撮影
3) マット	施工管理	摩擦増大用マット類の確認 <u>(※1)</u>	補強材セット状況 アスファルトコンクリート打設状況 搬入仮置 アンカー取付け、加工 運 搬	作業中、完了時 アスファルトコンクリート打設時 搬入仮置時 取付加工時 運搬時	不要	作業状況が判明できるように撮影
	出来形管理	摩擦増大用マット敷設状況 出来形の確認	敷設状況及使用船舶機械 敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認	敷設完了時	代表箇所 各1枚	確認箇所が判る背景を入れる。
4) 支 保						2-9型枠及び支保工を適用する。
5) 足 場	施工管理	足 場 <u>(※1)</u>	組立状況 昇り足場設置状況 壁継ぎ設置状況 足場スペースの確保状況 解体状況	組立時 同 上 同 上 同 上 解体時	不要	内足場及び外足場の組立状況を撮影 足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影
6) 鉄 筋	施工管理 出来形管理	鉄 筋	組立て 底 版 フーチング 外壁（側壁） 隔 壁 ハンチ部 吊筋等 かぶり	組立段階確認時 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 上段 組立段階確認時 上段 組立段階確認時 各層 組立段階確認時	代表箇所 各1枚	2-8鉄筋工を適用する。 組立完了状況が判明できるように撮影
7) 型 枠	施工管理 出来形管理	型 枠 <u>(※1)</u>	組立て 底版 フーチング 外壁（側壁） 隔 壁 ハンチ部	組立段階確認時 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 上段 組立段階確認時	代表箇所 各1枚	鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影 2-9型枠及び支保工を適用する。 組立完了状況が判明できるように撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明		
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度			
8) コンクリート	施工管理					2-4運搬打設工を適用する。		
	品質管理					2-7コンクリートの品質管理を適用する。		
	出来形管理	コンクリート	形状寸法、外観(※2)	打設後、各層	代表箇所 各1枚	打設完了状況が判明できるように撮影		
		完成	完成品全景	完成時、各函毎		ケーソン番号、吃水マーク等を入れて撮影		
2. ケーソン進水据付工								
1) バラスト	施工管理	バラスト投入	バラスト材投入状況	投入時	不要	バラスト投入方法及び材料が判明できるように撮影		
2) 止水板	施工管理	止水板	止水板の設置状況	進水時	不要	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影		
3) 上蓋	施工管理	蓋(ネットを含む。)	蓋の設置状況	進水時	不要	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影		
4) 進水	施工管理	進水	進水方法	進水時	不要	斜路式、ドライドック、FD、吊降し等の方法が判明できるように撮影		
			進水設備	進水時		設備(吊降しの場合、起重機船、吊具を含む。)が判明できるように撮影		
			進水状況	進水時		漏水がある場合は漏水状況及び処置状況を撮影		
		浮上	進水(吊上げ)完了時	計画吃水であることが確認できるように撮影				
5) 仮置	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、発電機、ポンプ等設置状況	設置時	不要	使用する船舶機械等の種類が判明できるように撮影		
			仮置作業	仮置時		沈設作業(注水を含む。)が判明できるように撮影		
			係留作業	係留時		係留作業(係留アンカーを含む。)が判明できるように撮影		
	出来形管理	(沈設の場合) (係留の場合)	仮置完了	沈設完了状況	完了時、各函毎	代表箇所 各1枚	沈設仮置完了状態が判明できるように撮影	
			仮置完了	係留完了状況	完了時、各函毎		係留完了状態(係留ロープを含む。)が判明できるように撮影	
6) 回航・えい航	施工管理	蓋の設置状況	完了状況	完了時、各函毎	不要	形象物等が判明できるように撮影		
		使用船舶	引船全景	えい航開始時			えい航・回航用ロープの取付位置及び状況について撮影	
		えい航・回航用ロープ	取付状況及び、吊具取付状況	えい航開始時				
		えい航・回航	えい航・回航姿勢	えい航・回航時				えい航・回航の姿勢が判明できるように撮影
		寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時及び避難時、各函毎				途中寄港した場合には、その係留等の状態が判明できるように撮影
	出来形管理	えい航・回航完了	完了(目的地着)状況	えい航・回航完了時	代表箇所 各1枚	えい航・回航が完了したことが判明できるように撮影(付近の背景を同時撮影)		
	7) 据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、発電機、ポンプ等配置状況	施工時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
据付作業				据付時、各函毎	据付作業が判明できるように撮影			
据付位置				前面又は背面の確認			据付時、各函毎	配筋が非対象の場合に適用する。
出来形管理		出来形の確認	据付完了状況	完了時	代表箇所 各1枚	据付完了が判明できるように撮影		
		据付目地	据付完了状況	完了時		代表的な部分を撮影		
		据付法線の出入	据付完了状況	完了時		完成法線が判明できるように撮影(延長方向へ撮影)		
3. 中詰工								
4. 蓋コンクリート工								
5. 蓋ブロック工								

(※1) 同一形状のケーソン毎に代表的な1サイクルの撮影で可とする。
(※2) 形状寸法は、出来形管理基準の測定密度以上、外観は全段階・全数の撮影とする。

3-9 本体工（鋼矢板式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 鋼矢板工						3-1-11鋼矢板工を適用する。
2. 控工						3-1-12控工を適用する。

3-10 本体工（コンクリート矢板式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. コンクリート矢板工						3-1-11 鋼矢板工 2) 鋼矢板を適用する。
1) コンクリート矢板						
2. 控工						3-1-12 控工を適用する。

3-11 本体工（鋼杭式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 鋼杭工						3-1-13鋼杭工を適用する。

3-12 本体工（コンクリート杭式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. コンクリート杭工						3-1-13 鋼杭工を適用する。

3-13 被覆・根固工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 被覆石工						3-4-3 基礎捨石工 1) 基礎捨石を適用する。 3-4-3 基礎捨石工 2) 捨石本均し、3) 捨石荒均しを適用する。
1) 被覆石						
2) 被覆石均し						2-11袋詰コンクリートを適用する。
2. 袋詰コンクリート工						
3. 被覆ブロック工						3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
1) 被覆ブロック製作	施工管理	ヤード等 使用船舶機械等 函台	ヤード及び設備 クレーン等 製作函台	着工時全景 施工時 着工時	不要	
	品質管理 出来形管理	鉄筋 型枠(※1) コンクリート(※2) 完成	組立てかぶり 組立完了 形状寸法、外観	組立完了時 組立確認時 打設後	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。 番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
2) 被覆ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等 据付作業	起重機船、台船等 据付作業状況	施工時 据付時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	据付の全体が判明できるように撮影

3-13 被覆・根固工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明	
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度		
4. 根固ブロック工							
1) 根固ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。	
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時			
		函 台	製作函台	着工時			
	品質管理				不要	2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	鉄 筋	組立てかぶり	組立完了	組立完了時	代表箇所 各1枚	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
			型 枠 (※1)	組立完了	組立確認時		
コンクリート (※2)			形状寸法、外観	打設後			
完 成			完成品	完成時			
		仮置状況	仮置時			番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影	
2) 根固ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要	3-13-3 被覆ブロック工 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する。	
		据付作業	据付作業状況	据付時			
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚		
5. 水中コンクリート工						2-10水中コンクリートを適用する。	
6. 水中不分離性コンクリート工						2-12水中不分離性コンクリートを適用する。	
7. サンドマスチック工							
1) サンドマスチック	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要		
		施工状況	作業状況	施工時			
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	不要		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚		

(※1) 同一形状のブロック毎に代表的な1サイクルの撮影で可とする。
 (※2) 出来形管理基準の測定密度以上の撮影とする。

3-14 上部工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 上部コンクリート工						
1) 支 保						2-9型枠及び支保工を適用する。
2) 足 場	施工管理	足場	組立て	組立時		3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
			解体	解体時		
3) 鉄 筋	施工管理	鉄 筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業	施工時	不要	
			組立て、結束及び溶接	組立時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影
4) 型 枠	施工管理	型 枠	型枠の構造	施工時	不要	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影
			目地材等の取付状況	施工時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影
5) 伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	施工時	不要	

3-16 消波工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 洗掘防止工						3-1-7 洗掘防止工を適用する。
2. 消波ブロック工						
1) 消波ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-13-3 被覆ブロック工 1)被覆ブロック製作の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等 函 台	クレーン等 製作函台	施工時 着工時		
	品質管理 出来形管理	鉄 筋	組立てかぶり	組立完了時	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 3-13-3 被覆ブロック工 1)被覆ブロック製作の関連事項を適用する。
		型 枠 (※1) コンクリート (※2)	組立完了 形状寸法、外観	組立確認時 打設後		
		完 成	完成品 仮置状況	完成時 仮置時		
2) 消波ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等 据付作業	起重機船、台船等 据付作業状況	施工時 据付時	不要	3-13-3 被覆ブロック工 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する。
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		

(※1) 同一形状のブロック毎に代表的な1サイクルの撮影で可とする。

(※2) 出来形管理基準の測定密度以上の撮影とする。

3-17 裏込・裏埋工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 裏込工						
1) 目地板	施工管理	目地板の確認	搬入	搬入時	不要	
		敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時		
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	不要	
		目地板の形状寸法	測定状況	測定時		
出来形管理	出来形の確認	敷設完了状態	敷設完了時	代表箇所 各1枚		
2) 裏込材 3) 瀬取り 4) 裏込均し	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前 後	不要	作業機械及び作業状況等が判明できるように撮影
		陸上運搬	ストック、積み込み、運搬状況	運搬時		
		瀬取り	瀬取り状況	施工時		
		裏込材投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船		
		裏込均し	均し状況	規格及び作業船毎		
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	不要	公的機関が実施する場合は省略できる。 スタッフ、テープ等を同時撮影
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時		
出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時	代表箇所 各1枚		

3-20 舗装工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 路床工						3-1-16路床工を適用する。
2. コンクリート舗装工						3-1-17コンクリート舗装工を適用する。
3. アスファルト舗装工						3-1-18アスファルト舗装工を適用する。

3-21 維持補修工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 維持塗装工						
1) 係船柱塗装	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	不要	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影
2) 車止塗装		塗装	施工状況	施工時、各層毎		
3) 緑金物塗装			出来形管理	出来形の確認		
2. 防食工						3-1-15 防食工を適用する。

3-22 魚礁工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 魚礁製作工・単体魚礁製作						
1) 単体魚礁製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時		
		函台	製作函台	着工時		
		鉄筋				
		型枠				
		足場				
	品質管理	コンクリート			不要	2-8鉄筋工を適用する。
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	代表箇所 各1枚	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		型枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後		
完成		完成品	完成時			
		仮置状況	仮置時		2-9型枠・支保及び足場工型枠及び支保工を適用す	
					2-9型枠・支保及び足場工型枠及び支保工を適用す	
					2-4運搬打設工を適用する。	
					2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
2. 魚礁製作工・組立魚礁製作						
1) コンクリート部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用機械等	クレーン等	施工時		
		足場				
		組立部材	運搬状況	施工時		
			保管状況	搬入後		
			組立状況	組立時		
	品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	不要	荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影 まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 組立部分及び全景組立状況を撮影
						部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1) コンクリート部材組立	出来形管理	ボルト等	取付外観	観察時	代表箇所 各1枚	個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		完成	完成品	完成時		
			仮置状況	仮置時		
2) 鋼製部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。 2-9型枠・支保及び足場工型枠及び支保工を適用す 荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影 まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 組立部分及び全景組立状況を撮影
		使用機械等	クレーン等	施工時		
		足場				
		組立部材	運搬状況	施工時		
			保管状況	搬入後		
			組立状況	組立時		
	品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	不要	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
	出来形管理	溶接の外観	溶接外観	観察時	代表箇所 各1枚	テープ、ゲージ等を同時撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		のど厚、脚長、溶接長等	計上寸法	測定時		
		溶接部試験	非破壊試験の状況	試験時		
		完成	完成品	完成時		
			仮置状況	仮置時		
	3) FRP部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要
使用機械等			クレーン等	施工時		
足場						
組立部材			運搬状況	施工時		
			保管状況	搬入後		
			組立状況	組立時		
品質管理		組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	不要	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
出来形管理		接続帯等	取付外観	観察時	代表箇所 各1枚	個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		完成	完成品	完成時		
			仮置状況	仮置時		
4) 重錘コンクリート製作						3-6-1 本体ブロック製作工の関連事項を適用する。
3. 魚礁沈設工						
1) 魚礁沈設		施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要
	沈設位置測量作業		測量作業状況	測量時		
	沈設作業		沈設作業状況	沈設時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	

3-23 増殖場工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 着定基質製作工・単体着定基質製作						
1) 着定基質製作	施工管理					3-16-2 消波工ブロック工（魚礁タイプは3-23-1 単体魚礁製作工）を適用する。
	品質管理					
	出来形管理					
2. 着定基質製作工・組立着定基質製作						
1) 着定基質組立	施工管理					3-2322-2 組立魚礁組立工魚礁製作工・組立魚礁製作を適用する。
	品質管理					
	出来形管理					
3. 着定基質設置工						
1) 着定基質設置	施工管理					3-2322-3 魚礁沈設工を適用する。
	品質管理					
	出来形管理					
4. 石材着定基質工						
1) 石材投入	施工管理	準備	ストックヤード等	ストックヤード使用前後	不要	
		石材投入	投入状況	投入時、石材規格毎及び作業船		
		石材均し	均し状況	規格及び作業船毎		
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	不要	公的機関が実施する場合は省略できる。 スタッフ、テープ等を同時撮影
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時		
		出来形管理	出来形の確認	測量状況		

3-24 構造物撤去工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 取壊し工						
1) コンクリート取壊し	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	
		完成	完成全景	完成時		

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
2. グラブ浚渫工						
1) グラブ浚渫	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	不要	全景及び数量が判明できるように撮影。
		位置測量	浚渫位置測量状況	測量時		法線又は区域標識を入れる。
		施工状況	浚渫状況	浚渫作業時、作業船毎		船団の配置及び浚渫位置が判明できる背景を入れる。
			土質状況	浚渫作業時		位置、深度又は層を明記する。
		障害物除去	障害物積込状況	積込時		運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など 障害物の状況に応じ撮影
		運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬毎適宜			
	出来形管理	出来形の確認	障害物捨込状況	捨込時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
2) 土運船運搬			測定状況	測量作業時		3-1-2土運船運搬工を適用する。
3. 硬土盤浚渫工						
1) 硬土盤浚渫						3-2827-2グラブ浚渫工 1)グラブ浚渫を適用する。
2) 土運船運搬						3-1-2土運船運搬工を適用する。
4. 岩盤浚渫工						
1) 砕岩浚渫						3-2827-2グラブ浚渫工 1)グラブ浚渫を適用する。
2) 土運船運搬						3-1-2土運船運搬工を適用する。
5. バックホウ浚渫工						
1) バックホウ浚渫						3-2827-2グラブ浚渫工 1)グラブ浚渫を適用する。
2) 土運船運搬						3-1-2土運船運搬工を適用する。
6. 揚土土捨工						

3-28 埋立工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 余水吐工						
1) 余水吐	施工管理	施工状況一般	余水吐の設置及び撤去	設置作業時及び撤去時	不要	余水吐が判明できるように撮影
			公害防止対策	防止処置作業時		3-1-6 固化工 5) 事前混合処理を適用する。
2. 固化工						
3. 埋立工						
1) ポンプ土取	施工管理	使用船舶機械	主要船舶機械	作業時、船舶機械毎	不要	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
2) グラブ土取		施工状況一般	埋立材の採取状況	採取作業時		
3) ガット土取			埋立材運搬の状況	運搬作業時		
			埋立材整地状況	整地作業時		
	品質管理	材料の品質管理状況	〈特〉に定められた品質管理の作業状況	品質管理作業時、品質管理内容毎	不要	撮影項目は〈品〉1.土及び2.石材等による。
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	
4. 排砂管設備工						3-1-1排砂管設備工 を適用する。
5. 土運船運搬工						3-1-2土運船運搬工 を適用する。